

合同会社 makana は 18 歳未満の児童から 18 歳以上 65 歳未満の大人までを対象に支援をしています。通所支援事業所のアトリエさくら、スタジオさくらは発達障がいのある児童（医療的ケア児を含む）を対象としています。児童だけでなく家族と保育所・学校等の支援関係者との連携・協働を大事にします。

相談支援事業所アトリエさくらでは児童から大人までを対象に支援をしています。

代表の想い

「普通ってなに？それってまわりが勝手に決めたルールでしょ。」

わたしは高校生の頃、みんなと同じことをしなきゃいけないことに疑問を感じて不登校気味になっていました。今考えると生きづらさがあったのかもしれませんが。そんなこの国では、協調性や規律を重んじることが美德とされています。その文化の結果、

「みんなとは違う、わたしなんてどうせ・・・」と自分を嫌いになってしまう子もいます。集団生活に悩み苦しむのは、なにも子だけでなく、その姿を見守っている親も苦しいです。

アトリエさくらとスタジオさくらでは、そんな自分を受け入れることができ、好きなことを伸ばしていき、自信を持ち、自分を好きになれるように寄り添います。そして、いつか、

「普通より、ちょっと変わってるくらいが特別感があってちょうどいいじゃん」と胸を張れるようになってくれるとうれしいかも。

特性を個性に！！

会社代表・看護師 相馬 悟

アトリエさくら マンツーマン療育

- 発達障がいのあるお子さんが、遊びを通して楽しく学べる環境を整え、早期介入における大人との関係作り、コミュニケーションや社会性を育む支援を行います。
- 今そこにある感情、言動、行動を拾って適切に返し、人と関わる安心感を育むために 1対1の関わりをしています。また子どもとおもちゃの二項関係から大人を交えた三項関係に遊びを発展できるように関わります。
- 保護者との協働を大切にしており、家庭相談・家庭療育を支援します。

スタジオさくら 小集団療育

- 子どもとおもちゃとお友達との三項関係ができるように、上手なお友達との関わり方の見本を提示していきます。平行遊び→連合遊び→協同遊びができるように関わります。
- 今何をする時間なのか、まわりの先生やお友達を見て学習し自主的に行動できるようになるモデリング理論を大切にしています。

さくらの特徴

エビデンスに基づく専門的な支援

児童の興味や遊びを上手に引き出す専門職の保育士だけでなく、言語聴覚士・作業療法士といったセラピストを配置しているため、科学的根拠に基づいた療育（遊び）を提供します。

NC プログラムや SSP(日本版感覚プロファイル短縮版)、LC スケール、質問応答関係検査をはじめとした各種アセスメントツールを活用し専門的支援プログラムを組んでいます。

早期介入を重要視

自閉スペクトラム症や境界知能の方の発達段階を踏まえ、早期介入における大人やお友達と触れ合う中で、自分の感情をコントロールする力、人とうまく関わる力、目標に向かって頑張る力、苦難を乗り越える力の向上を図っていきたいと思います。

家庭との協働

HUG アプリの『保護者との連絡機能』を使い、チャット形式で連絡・相談に応じます。また保護者面談などの来所の機会を通して、家庭でできる構造化や視覚支援などのご提案、家族支援をしています。

医療的

看護師の配置のほかに、訪問看護ステーションから看護師が訪問してくれる医療連携をとっているため、胃ろうや気管切開といった医療行為が必要な児童を受け入れています。

保育所等訪問支援

- 訪問支援員が訪問し、対象となる子どもを学校等の集団生活に合わせるのではなく、子どもの特性等に配慮する点などを学校等と一緒に考え、集団生活や活動の手順等を合わせていきます。
- 保育所等訪問支援を通して、保護者と学校等との距離が縮まり、子どもの成長・発達を共に喜び合えるように支援していきます。
- ・最終的には子どもが安心・安全に過ごせる環境になり、保育や教育の効果を最大限引き出すことにつながるよう支援していきます。